

シンポジウム

北海道らしい脱炭素社会を目指して

参加費
無料

北海道の多様な資源を活用し、脱炭素社会の実現に貢献していくには、地域特有の課題を認識しつつ、その解決に向けた省エネ対策など地道な取組みとともに、既存の技術でも可能な再生可能エネルギーの利用拡大を道内各地で進めていくことが重要と考えられています。

当協会では、今後の北海道における脱炭素社会に向けた普及・展開に寄与すべく、道内の大学等における脱炭素に関する研究や、地域の資源循環を旨にバイオマス活用を実践している企業の取組み、再生可能エネルギーを基本とした地域熱供給が広く普及するデンマークの事例などをまとめた冊子『北海道における脱炭素社会に向けた取組み』を発行しました。

この発行に合わせて、執筆者らによる各取組みの報告と、“北海道らしい脱炭素社会”を目指した取組みについて、ゲストを迎えディスカッションを行います。ぜひ、ご参加ください。

<プログラム>

第一部【各取組みの報告】 14:00 ~ 15:20

- 『北海道における脱炭素社会の実現に向けて』
石井 一英 北海道大学大学院 工学研究院 教授
- 『北方型住宅の展開』
廣田 誠一 (地独) 北海道立総合研究機構 建築研究本部北方建築総合研究所 建築研究部長
- 『脱炭素社会に向けたセクター・カップリング』
ーデンマークの地域熱供給・熱利用及びバイオガスの事例からー
田中いずみ デンマーク王国大使館 上席商務官
- 『脱炭素社会の実現に向けた市民参加の取り組み』
ー北海道グリーンファンドの取り組みについてー
小林 ユミ NPO 法人北海道グリーンファンド 事務局長
- 『持続可能な開発目標 SDGs から見た脱炭素社会の実現』
山中 康裕 北海道大学大学院 地球環境科学研究院 教授



第二部【パネルディスカッション】 15:30 ~ 17:00

<北海道らしい脱炭素社会を目指して>

- ◆ コーディネーター 石井一英氏
- ◆ パネリスト 各取組みの報告者
- ◆ ゲストスピーカー 堂田文良氏 北海道地域暖房(株)真駒内エネルギーセンター所長

開催日 2021年12月22日(水) 14:00 ~ 17:00
(開場・受付開始 13:30 ~)
(YouTube ライブ配信予定)

会場 北海道大学 学術交流会館「講堂」(札幌市北区北8条西5丁目)
※駐車場はございません。公共交通機関でお越しください。

定員 会場参加 100名まで (先着順) ソーシャルディスタンス確保
注) 会場では、マスクの着用や手指消毒などの新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いします。

申し込み 必要事項(「会場参加」または「YouTube ライブによる視聴」/所属/氏名/電話/E-mail)を明記の上、EメールまたはFAXでお申込み下さい。
※YouTube ライブによる視聴をお申し込んだ方には、後日配信 URL をメールにてご案内いたします。

主催 (一財)北海道開発協会

問い合わせ先: (一財)北海道開発協会 開発調査総合研究所
E-mail: kenkyujo@hkk.or.jp / Fax 011-709-5225 / Tel 011-709-5213
URL: <https://www.hkk.or.jp/>

